

小島地区ふれあいセンターだより



令和4年7月 第385号 運営委員会発行

愛宕3丁目10-2 電話826-7703



7月の行事予定 ※毎週月曜日は休所日です。

開催日	行事名	
1日(金)	子育て教室	午前10時～11時30分
5日(火)	小島地区ふれあいセンター運営委員会	午前10時～11時
6日(水)	生涯元気事業(すこやか教室)	午前10時～12時
	被爆者定期健康診断	午後1時30分～3時30分
7日(木)	被爆者定期健康診断	午後1時30分～3時30分
12日(火)	小島愛宕地区老人連合会定例会議	午前10時～11時
	小島中学校区青少年育成協議会総会	
20日(水)	生涯元気事業(すこやか教室)	午前10時～12時
23日(土)	小島地区民生委員児童委員協議会定例会	
26日(火)	小島地区連合自治会連絡会議	

※上記の行事は、新型コロナウイルス感染症拡大防止等のため、日程を変更(中止又は延期)する場合があります。

【お知らせ】

文化庁委託事業「伝統文化親子日本舞踊教室」(参加費は無料)の御案内

☆小島地区ふれあいセンターの活動グループ「実花会(みはなかい)子供日本舞踊教室」では、

7月から、令和4年度 文化庁委託事業の「伝統文化親子日本舞踊教室」を開催します。

練習場所 小島地区ふれあいセンター 第1研修室(長崎市愛宕3丁目10番2号)

練習日時 月3回木曜日 午後4時～6時 令和4年7月～令和5年1月(約20回)

内容 日本の伝統文化である日本舞踊を体験して、知ることで日本の心を学びます。

日本舞踊を踊ってみませんか♪

説明会は、7月7日(木)午後4時から

対象 幼児(4歳から)、小学生

参加費 無料

(※入会申込書は、小島地区ふれあいセンターに設置しています)

指導 花柳孝光央(はなやぎ たかみつお)先生(吉村由実)

(連絡先) 電話095-822-8861 携帯090-8400-9301



お気軽にご参加ください!! 見学も、いつでも可能です。

東山手界限 ⑤

●石畳(2)

・畳という日本らしい施工。もし、これが壊れたら裏返せばいい、元は砂利の上に石畳は置いておくだけでしたから、畳の表替えと同じ発想でした。

・敷き方も平らなところは水平に敷き、馬車で移動しやすくするため、坂道は滑りにくくするために斜めに敷いた。また、雨の日は水が石畳の目に沿って流れやすい効果も生んでいます。

・長崎の街は、歴史とともに石畳でつながっていました。長崎の街を歩いたら、足元の石畳にも、注意してみてくださいはいかが？

○居留地境石標柱

・オランダ坂を登りきり、左へ少し上ります。活水学園車道入口の先隣に大きな石の標識が見られます。ここが長崎の街と居留地の境です。

・この先の階段を下れば、館内(唐人屋敷)のみさき道口に繋がります。

・みさき道、野母半島の観音寺 和銅2年(709)へ続く道です。

・階段を下った所は十人町で、野母遠見番十人の役宅がありました。

○鎮西学院碑

・境石の道路反対側に、碑と説明文があります。

・鎮西学院は、メソジスト派のキャロル・ロングが明治14年(1881)に創設しました。

・当初はカブリー英和学校で、倉場富三郎など12名の生徒で開校しました。

・明治39年(1906)鎮西学院と改称、昭和5年(1930)竹の久保へ移転。15年後の昭和20年に原爆の被害を受け、昭和21年(1946)諫早市へ移転しました。

次は、東山手界限 ⑥

愛された豚食(一) その④

戦国時代になってキリスト教が伝来すると、宣教師たちが、キリシタン大名を介して肉食の慣習を日本に持ち込んだため、一時的に豚肉が食べられるようになった。

南蛮人は、堺・博多など各地に入航、肥前の平戸にも来航し、そこは彼らの交易、生活の場であったがため、当時の手紙や、日記などに豚の記述がみられる。

永禄二年(一五五九)ポルトガル人の司祭バルタ・ガゴの手紙の中に、信者から豚肉を貰ったと、また慶長十七年(一六一二)イギリス商館ジョン・セリースの日記には、平戸で豚の飼育と食肉用の販売がなされたということが書かれている。

昼桜豚かたまつて運ばるる 久保田哲子

行く春の豚に十二の乳首あり 川口正博

天正八年(一五八〇)大村純忠が、長崎をイエズス会に寄進すると、長崎の地は食生活において豚の飼育、食用が慣習化される素地ができていった。

芭蕉の葉豚の寝床に敷いてやる 唐 振昌

鶏舎から豚舎牛舎へ芽木の風 前田清静

「春の歴史探訪」講座について

五月二十一日（土）に、小島地区ふれあいセンターの主催講座として、講師にテレビ等でお馴染みの山口広助さんをお迎えして「春の歴史探訪」を開催しました。

好天に恵まれて、参加者及びスタッフ三十名は、上小島五丁目バス停に集合して、小島街道（茂木街道の別名）沿いに平松地蔵尊、ピントコ坂、茂木道無縁塔など、上小島界限を散策しながら、正覚寺までの道のりを歩きました。

参加者の皆さんは、講師の分かりやすい説明を興味深く聞きながら、和気藹々（わきあいあい）と、午後のひとときを楽しんで過ごされました。



崎陽歳時記（43）

竹方其

愛された豚食（一） その⑤

ポルトガル人、スペイン人らは、長崎の町に散宿していたので、その宿泊所で肉料理を所望したのであるから、彼らは牛、鶏、山羊、豚料理の調理法を伝授し、彼らの口にあつた料理として食卓に並べられた。

料理をしたのは、最初は彼ら自身であつただろうが、次第に、その調理法を学び、日本人みずからの手で調理するようになっていった。調理法を学んだ長崎の各家庭においては、豚を食するようになったのは必然的であろう。

ポルトガルであれば、豚肉とアサリの炒め物、スペインであれば、豚肉と豆を使用した多彩な煮込み料理などであつた。

初春や今に煮らるる豚あそぶ 一茶

また、中国人も長崎に散宿し、彼らの大好きな酢豚・回鍋肉片（ホイコーロ）・豚の角煮など、中華料理に欠かせない豚が食材として必要であつた。

山笑 ふ豚の頭を供物とし 木場瑞子
真夏日や豚ばら肉を叩き切る 米村智裕

回鍋肉片（ホイコーロ）





〈新着図書のご案内〉

	書 籍 名	著 者 名	出 版 社
一 般	霧ふかき宇治の恋 上	田辺 聖子	新潮社
	霧ふかき宇治の恋 下	田辺 聖子	新潮社
	新源氏物語 上	田辺 聖子	新潮社
	新源氏物語 中	田辺 聖子	新潮社
	新源氏物語 下	田辺 聖子	新潮社
	不屈の達磨	安生 正	角川春樹事務所
	残月記	小田 雅久仁	双葉社
	仕込み5分の漬けとく献立	市瀬 悦子	オレンジページ
	なぜ日本語はなくなっではいけないのか	齋藤 孝	草思社
	ウルトラ図解骨粗鬆症	竹内 靖博	法研
図 書	おとしより	イザベル・ボワノ	パイインターナショナル
	不思議の国ニッポン	クーリエ・ジャポン	講談社
	長崎の女たち 第2集	長崎女性史研究会	長崎文献社
	剣聖	池波 正太郎	新潮社
	最速で仕事が終わる人の時短のワザ	伊庭 正康	明日香出版社
	孔明に訊け!	四葉 タト	講談社
	六人の嘘つきな大学生	朝倉 秋成	KADOKAWA
	天下を買った女	伊東 潤	KADOKAWA
	情熱の砂を踏む女	下村 敦史	徳間書店
	ラ・ロシェル工藤シェフのフライパンひとつ	工藤 敏之	二見書房
児 童 図 書	そらいっぱいこのいのぼり	羽尻 利門	世界文化ワンダークリエイト
	未来のハッピースクール計画!	井上 林子	講談社
	げたばこかいぎ	村上 しいこ	PHP 研究所
	りぼんちょうだい	かんざわ としこ	こぐま社
	かがやく昆虫のひみつ	中瀬 悠太	ポプラ社
	ラストで君は「まさか!」と言う呪いのスマホ	PHP 研究所/編	PHP 研究所
	サクラ	おくやま ひさし	ほるぷ出版
	歌あそび	伝承遊びを伝える会	文溪堂
	いのちの水	八百板 洋子	福音館書店
	あっちこっちもこの世はもれなく	いとう みく	PHP 研究所